

2022年6月10日

## 九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (152)

私事ですが、麻生社は今年で創業150周年を迎えています。曾祖父が石炭事業に着手したのが1872年でした。この6月1日でその日を迎え、感謝の思いとともに、将来に向けて発展させていく事で弊社グループは勿論、地域、そして国家に役立っていきたいと思います。

多くの事業者がこの飯塚、筑豊で石炭事業に着手しました。大手財閥企業の各社もこの地で石炭を掘っていましたが、主要エネルギー源がコスト競争力のある石油へ移行した事ですべての山が閉山に追い込まれたのです。当社では昭和44年(1969年)が最後の閉山です。それから50年以上が経った現在の飯塚の発展ぶりを、天から見ている父や当時の社員の人たちは嬉しく思っていたり、驚いている事だと思います。

以前、お役所の偉い方と話している中で「飯塚を明るい街にしていくのが自分のライフワークの一つです」と言うと、「それは無理ですよ、日本国内だけではなく、世界でも産炭地が復興し現在明るい街になっている所は無いのですよ」としっかりと言われたのをよく覚えています。私は、かつて「オンボロ病院の西の横綱」と言われていた飯塚病院を磨き成果を出している中で、「住みたくなる街飯塚」づくりを実現する事は不可能ではないと思っています。行政と、地元教育界や医師会、そして地域で商業に携わる人や住民が皆で共有する目標と時間軸を作りあげ達成に向けてともに動き、動かしていければ物事は動き出すように思います。

石炭事業の撤退の際にご苦勞されてきた皆さんに感謝すると同時に喜んでもらえる街づくりをする事で、現在は危機感なきジリ貧の日本経済の中で明るい復興の実績の勢いをこの地から示していきたいのです。コンパクトであるが故の動きの作り易さ、住民が持つ地元愛の強さ。そして市長をはじめとしたリーダーの魅力とパワーで実現します。次世代へのバトンタッチまでにはもっと明るく、魅力のある街にしていくぞ!という思いです。

創業175年を目指して弊社グループを発展させていき、この飯塚市も力ある、住みたくなる街にしていきます。こうした活動を続け、街に明るさと盛り上がりを作る事で、各地に「あの飯塚市でも出来たのだから。ビジョンをしっかりと持ってリーダーシップが発揮できれば自分たちの街からでも出来るのかも」という希望や、自己実現の自信を伝えられるように！それも4年後くらいには地元住民も福岡市民も感じられるような盛り上がりを示していきます。頑張ります。乞うご期待です。

麻生 泰